

## スポーツ科学部トレーナー学科

### 教育課程編成・実施の方針

---

---

スポーツ科学部トレーナー学科の教育課程は、学位授与の方針で示した「学修成果」を実現するため、以下に示す教育課程を編成し、実施していくこととします。

#### <全学共通科目>

##### <全学共通科目>

中京大学（以下「本学」という。）では、人類が築いてきた知の成果に対する理解を深めつつ総合的な知を身につけ、学士課程教育における人材養成の目的を達成するために、教養教育として位置づける「全学共通科目」を配置します。具体的には、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するための「自然の探究」、「人間の探究」、「社会の探究」、「新領域」の科目群、外国語の実践的な運用能力を高めるための「外国語基礎」、「外国語演習」の科目群等から編成します。

##### <学部固有科目>

学部固有科目は、専門教育科目として位置づけ、学部共通科目、学科開講科目及び他学科履修科目から編成します。各学科の人材養成の目的を達成するために必要となる講義科目、演習科目、実技・実習科目を適切に配置するとともに、基礎から応用・展開までを段階的に学べるよう「導入科目」、「基礎科目」、「基幹科目」、「応用科目」、「展開科目」の各科目群から編成することで、科目間の関係や履修順序等に配慮した体系的な編成とします。

#### 導入科目

初年次教育としての「アカデミック・スキルズ」では、学部での学び方を理解するために教育課程全般、学部のDP・CPやカリキュラムツリー、各科目のシラバスやルーブリックの利用方法等について学びます。さらに、思考力や判断力、主体性や協調性を高めるための知識と技能を身につけさせる教育も提供します。また、本学の取組として、すべての学部学生が個人用PCを有するBYOD（Bring Your Own Device）を導入しているため、「情報スキルズ」や「データサイエンス入門」等の科目を配置します。これらの科目では機器やソフトの使用方法のみならず、情報の活用方法や情報倫理に関する教育を施します。「スポーツ科学入門」は細分化されたスポーツ科学の専門分野について、それぞれの内

容や特徴、トピック等を各分野の専門家である専任教員がオムニバス形式で紹介し、学部での専門教育を網羅的に把握することができる科目です。これらの導入科目は5学科に共通して配置します。

#### 基礎科目

スポーツ科学を総合的に学ぶ基礎科目として、必修科目を中心に配置します。学部基礎科目には、身体活動の基礎を学ぶ「トレーニング基礎」、「レクリエーション基礎実習」、「健康学概論」を配置し、学科基礎科目には、スポーツ科学の総合的理論を学ぶ「体育・スポーツ原論」、「体育・スポーツ史」、「解剖・生理学」、「運動・スポーツ生理学」、「バイオメカニクス」、「体育・スポーツ心理学」、「生涯スポーツ論」等の基礎科目を配置します。

#### 基幹科目

基幹科目には、学科の基礎となる科目、応用科目には、学科の特性に応じた応用科目や演習科目等、スポーツ科学の専門性を高める科目を配置します。

学部基幹科目には「スポーツ実技A・B・C・D」を、学科基幹科目には、「トレーナー概論」、「スポーツ救急処置」、「運動器の機能解剖学」等を配置します。

#### 応用科目

学部応用科目には、「ゼミナール」等を配置します。学科応用科目には、「アスリート評価法」、「ストレングス&コンディショニング演習・実習」等を配置します。

#### 展開科目

スポーツ科学に関する知見を幅広く総括するための科目を配置し、他学科履修科目はこの科目群に含めることとします。

学部展開科目には「インターンシップ」、「海外事例研究」を、学科展開科目には、「健康運動実習」、「障害者スポーツ」、「体育実技指導法」等を配置します。

#### 成績評価

成績評価は、シラバスに到達目標と基準を明記し、厳格に行います。